



シンポジウム

坊所鍋島家文書を読みなおす

ぼうじょなべしほけんじょ

成立期の佐賀藩と江戸幕府

佐賀県立図書館は、令和4年度から、東京大学史料編纂所や県内の研究者等と共に「坊所鍋島家文書研究会」を結成し、館蔵の「坊所鍋島家資料」を素材とする共同研究を実施しています。その活動の中間報告として、佐賀藩成立期をテーマとする歴史シンポジウムを開催します。

日時 令和5年11月11日(土) 13時~16時 12時30分開場

場所 ホテルニューオータニ佐賀 (佐賀市与賀町1-2 「辻の堂」バス停より徒歩2分)

定員 100名 ※事前申込みが必要です

主催 佐賀県立図書館・東京大学史料編纂所

聴講無料

共催 科学研究費補助金基盤研究(C)(一般)研究課題「近世初期大名発給無年号文書群の研究資源化 -佐賀藩家臣坊所鍋島家史料を対象として-」(研究代表者 小宮木代良)
東京大学史料編纂所共同利用・共同研究拠点特定共同研究「近世大名家臣家史料の『読み直し』と研究資源化」(研究代表者 小宮木代良)

後援 佐賀大学地域学歴史文化研究センター

◎ 参加をご希望の方は、ウェブフォームまたは往復はがきでお申込みください。(詳細裏面)

◎ 申込み期間：令和5年9月15日(金)から10月15日(日)まで (郵送の場合は当日消印有効)

問合せ先：佐賀県立図書館 郷土資料課 TEL 0952-24-2900

報告者紹介

基調報告「坊所鍋島家文書共同研究の意義」

小宮木代良 東京大学史料編纂所教授

1960年佐賀県生まれ。1986年から史料編纂所で『大日本近世史料』や『大日本史料』第十二編の編纂に従事。研究テーマは、近世政治史、江戸幕府の記録類など。



報告①「鍋島勝茂の佐賀藩継承」

及川 亘 東京大学史料編纂所准教授

1970年大阪府生まれ。1996年から東京大学史料編纂所で『大日本史料』第十二編の編纂に従事。研究テーマは、中近世移行期の研究、公儀普請の研究、南都薬師寺の研究など。



報告②「初代小城藩主鍋島元茂の江戸詰め」

田久保佳寛 小城市教育委員会文化課

1970年佐賀県生まれ。1999年から小城町立歴史資料館・中林竹梧記念館にて同館の運営に携わる。研究テーマは、小城地域の近世史・近代史、古文書の解読。
※2005年から小城市立



報告③「鍋島勝茂の鷹狩」

伊藤昭弘 佐賀大学地域学歴史文化研究センター教授

1971年長崎県生まれ。2006年から佐賀大学地域学歴史文化研究センターで佐賀藩の研究に従事。研究テーマは、藩政史、経済史。



コーディネーター 本多美穂（佐賀県立図書館）

申込み方法

●ウェブフォーム（スマートフォン・パソコン・タブレット等）での申込み

- 右のQRコードまたは下記のURLからお申込みください。

URL: <https://logofom.jp/form/jbBd/286776>



- 1回の入力で1名のみお申込みいただけます。
- 受付完了及び参加の可否をメールでお知らせしますので、次のドメインからのメールを受信できるように、あらかじめ設定しておいてください。「@logofom.st-japan.asp.lgwan.jp」「@pref.saga.lg.jp」
- シンポジウム終了までは、応募時のメールアドレスを変更しないでください。

●往復はがきでの申込み

- 1通につき1名のみお申込みいただけます。
- 往復はがきの宛名面に下記の申込み先、往復はがきの裏面に申し込む方の①氏名 ②郵便番号 ③住所（郵便物が届くよう正確に）④電話番号を書いて郵送してください。

〈申込み先〉 〒840-0041 佐賀市城内2-1-41 佐賀県立図書館 歴史シンポジウム係 宛

- 返信用はがきには、宛名面・裏面共に何も書かないでください。

《注意事項》 下記の事項をご了解のうえご応募ください。

- 応募者多数の場合は抽選となります。参加の可否は10月末日までに応募者全員に通知します。
- 会場は全席自由です。聴講は無料ですが、事前申込みをされていない方は参加できません。
- 報道機関を除き、会場内での写真撮影・録画・録音はお断りいたします。
- 駐車場には限りがあります。来場の際は公共交通機関をご利用ください。会場は「辻の堂」バス停から徒歩2分です。

募集の際に得られた個人情報、このシンポジウムに関することのみ利用し、それ以外の目的には使用いたしません。